

週刊 タバコの正体

ひとたびニコチン依存症になってしまうと、毎日タバコを吸い続ける生活を送ることになります。言い換えれば、タバコを買い続けなければなりません。いったいタバコ代にどれほどのお金を費やすことになるのでしょうか。

現在、タバコの値段は一箱430円～450円です。毎日買ったとすると一ヶ月で約13000円が必要です。仮に450円のタバコをずっと毎日買い続けたとすると、下図のような金額になってしまいます。年間16万円以上もタバコにつぎ込んで、何か得るものはあるでしょうか。

「百害あって一利なし」の言葉のとおり、得るものはありません。それどころか20年、30年も吸い続ければ、そのために病気になるケースはたくさんあります。30年間約500万円をかけてタバコを吸い続けた結果、そのために病気にかかり入院治療を受けたとしましょう。するとその治療費も必要となり、さらに出費が増えるわけです。



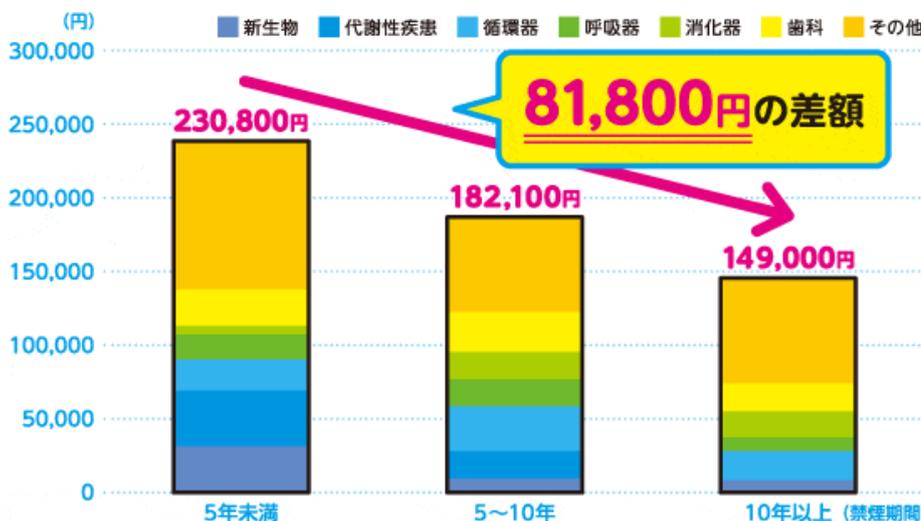
一方、下のグラフを見て下さい。喫煙者が禁煙してから必要となった医療費を表しています。禁煙期間が長くなるほど医療費が減っている事がわかります。

タバコを吸い続ける事は、わざわざお金をだして病気になるようなものです。そして、その治療費も必要になるのですから、まったく馬鹿げていませんか。

タバコに手を出してしまうと、30年かけてタバコ代500万円プラス医療費を支払う事になってしまいます。やっぱり、タバコで得るものはありません。

産業デザイン科 奥田 恭久

禁煙した人の年間医療費



※ 厚生労働科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)分担研究報告書
職域における効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度に関する研究(平成18年度)

あしたの健保プロジェクト HP から